

2ヶ月に亘る中部縦貫道(高山西IC~飛騨清見IC間)の*補修工事等にご協力いただき、誠にありがとうございました

*補修工事の内容はP3に掲載しています



舗装修繕をし、生まれ変わった彦谷橋(L=340m)

こんにちは。

このたび、7月1日付けで所長に着任いたしました竹島です。

高山国道事務所は、国道41号(下呂市金山町~飛騨市神岡町)の約136kmと中部縦貫自動車道高山清見道路(飛騨清見IC~高山IC)の約15kmの維持管理、国道41号のバイパス整備、防災事業や交通安全事業、中部縦貫自動車道高山清見道路(高山IC~丹生川IC(仮称))の約9.5kmの整備を行っております。



高山国道事務所長

たけしま だいすけ

竹島 大祐

山岳地域である飛騨地域は、近年の局地的な降雨や記録的な降雪など自然災害により、通行止めが発生し、集落の孤立や物流ネットワークの寸断など日常生活への影響にとどまらず、産業活動の妨げとなっています。

高山国道事務所としては、「魅力・活力あふれる飛騨地域の実現」と「様々な危機に対応できる安全・安心な地域づくり」という使命の下、職員一同頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

第16回目は下呂商工会の中川会長（(株)ハウテック社長）にインタビューを行いました。

「民間サイドと公共サイド、それぞれのたゆまぬ努力が下呂での取り組みには必須！」

- ・ハウテックは、60年以上前に先代が創業した家の扉等の建材を生産・販売する会社であり、ここ下呂が創業の地である。
- ・全国約500名の社員のうち、300名ほどの仲間が下呂で働いており、今後ともこの下呂の地で仲間と生産を続けていきたいと考えている。
- ・当然、下呂での生産に対して、顧客からは我が社との契約にあたりしっかりと納期に納入できる高い信頼感を求められる。その対応の一つが業務継続計画BCPの作成であり、関東等他の工場と連携したリスクヘッジであり、『※後納』の徹底的な排除である。※『後納』とは、顧客に期限までに届けることが出来なかったことを指す。
- ・顧客からのオーダーを受けて生産し、直接顧客に届ける『邸別生産方式』を採っている我が社としては、一定数つくって在庫を抱えることで後納のリスクを減らす対応が出来ないため、よりシビアな生産管理、輸送管理が必要となる。
- ・その際、民間企業として、各種事務上のミス無くし、生産機械の故障無くし、物流会社等協力企業との強い関係をつくるなどの努力を実施している。しかし、着実な輸送には道路が必要であり、民間企業の努力では道路をより安全・安心にすることが出来ない。
- ・この下呂の地で生産を続けていくためには道路の安全・安心の確保が必須であるし、台風等の大きな災害があったときには、複数の輸送ルートが確保されていることが非常に重要である。
- ・このように、民間サイドの努力と公共サイドの努力のそれぞれが、我が社をはじめ飛騨地域において民間企業が今後とも活動していくためには必要であると考えている。
- ・そのことは、何も自社の生産等民間企業活動の話だけでは無い。
- ・人口減少、人口格差が広がることが確実な中、地域が元気であるためには、地域が魅力的であることと、その魅力へアクセスしやすいことが重要であると考えている。
- ・その中で、民間サイドの努力により、地域の魅力の向上をしっかりと図っていくことが必要であり、一方で、公共サイドの努力による交通アクセスの向上、下呂の地まで安心・安全に来てもらうことの出来る環境のそれぞれが必要である。
- ・下呂には温泉があり、小坂の滝等豊かな自然もあり、魅力を高めていける要素は多くあり、我が社も含めた民間サイドはもっと努力して魅力を高め、そしてそれをPRしていく必要がある。
- ・合わせて、その魅力にアクセスするための、国道41号や257号をはじめとする幹線道路の安全の確保、中部縦貫や濃飛横断といった広域アクセス手段の確保は地域にとって必要不可欠である。
- ・これからの下呂における取り組みがしっかりと継続していけるよう、お互いたゆまぬ努力を続けていける関係を今後ともしっかりと築いて行きたいと考えている。



中川下呂商工会会長
((株)ハウテック社長)



夏祭りシーズンがやってまいりました！7～8月は下呂市でも各地で夏祭りが催されます。日本三名泉である「下呂温泉」にゆっくりとつかりながら、様々な地域の祭りを堪能してみたいいかがでしょうか？

下呂市公式観光サイト ⇒ <http://www.city.gero.lg.jp/kankou/>

ご協力ありがとうございました

中部縦貫道の終日通行止 終了しました

5～7月に亘る中部縦貫自動車道（高山西IC～飛騨清見IC）の終日全面通行止では大変ご迷惑をお掛けしました。おかげさまで安全安心な道路へと補修出来ました。

長さ340mの橋の補修工事に一番時間がかかりました。

橋の補修



舗装を全部はがす



傷んだ部分を補修



舗装を復旧して完成

昨年7月の豪雨で崩れた斜面を復旧しました。

災害復旧



被災直後



コンクリートを吹付



梅雨の前に完成

トンネル

小鳥トンネル（約4km）の清掃や保守点検など行いました。



工事前



壁面清掃

切れた照明の交換
設備の保守点検

反射材交換

工事後

路面清掃

その他にも、舗装補修・橋梁点検・各種清掃・保守点検など行いました。



2ヶ月間にわたり、大変ご迷惑をお掛けしました。

労働災害ゼロの誓い

令和元年度 国土交通省高山国道事務所工事等安全協議会
総会を開催しました

日時：令和元年7月10日(水) 14:00~16:00

会場：飛騨高山ビッグアリーナ

参加人数：受注者71名 発注者30名 計101名

総会では高山労働基準監督署 浅井安全衛生課長をお招きし、「労働安全衛生について」と題して、労働災害の発生状況や実際の事故事例の紹介、安全な現場につながる環境づくりについて御講演頂きました。

続いて、事務所各支部（下呂維持、高山維持、神岡維持、中部縦貫道）より各々の現場における事故防止に向けた取り組みについて報告をしました。最後に参加者全員で安全宣言スローガンを読み上げ、労働災害の防止を宣言しました。



浅井安全衛生課長による講演



竹島事務所長による挨拶



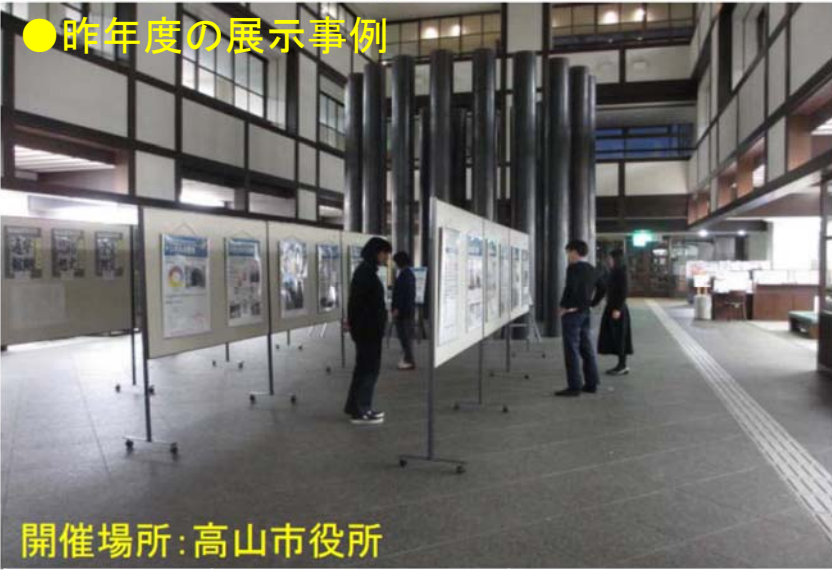
取り組みの報告をする支部代表



参加者一同による安全宣言

道路の老朽化対策パネル展を開催 ～飛騨地域の各自治体ごとで開催～

●昨年度の展示事例



開催場所: 高山市役所

道路施設の橋梁・トンネルなどの老朽化や損傷状況、また道路利用者の皆様が安全に道路を利用していただくために、定期的な施設点検や補修工事の取り組みを広くご紹介することを目的として、「道路の老朽化対策」のパネル展を開催しています。

開催市町村	展示施設名	住所	開催期間
高山市	高山市役所	高山市花岡町2-18	令和元年7月22日～令和元年7月29日
下呂市	星雲会館	下呂市萩原町萩原1166-8	令和元年8月5日～令和元年8月30日
白川村	総合文化交流施設 (道の駅 白川郷)	大野郡白川村飯島411	令和元年9月2日～令和元年9月27日
飛騨市	飛騨市図書館	飛騨市古川町本町2-22	令和元年10月1日～令和元年10月18日

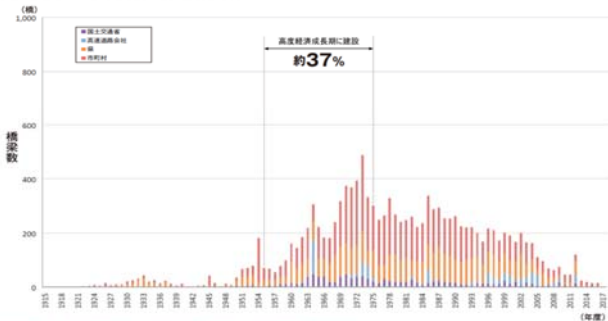
●展示パネルの一例

岐阜県内の橋梁も高齢化

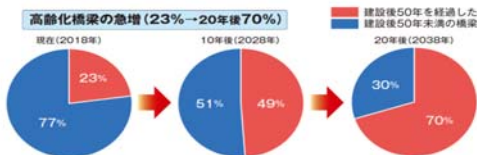
建設後50年超が23%

岐阜県には国と県と市町村と高速が管理する橋長2m以上の橋梁は約27,000橋、このうち建設後50年を経過する橋梁が、2018年3月末時点で23%あります。しかし、高度成長期に建設された橋梁が多く、20年後には高齢化した橋梁の割合は70%に急増します。

岐阜県内の年度別建設橋梁数 (橋長2m以上、2018年3月末時点)



岐阜県内の建設後50年を経過した橋梁の割合 (橋長2m以上、2018年3月末時点)



3大損傷以外の多様な損傷原因

漏水・凍害・中性化による損傷

●橋梁の損傷原因は、「漏水による腐食」「凍害によるコンクリートの剥離」「コンクリートの中性化」など、さまざまである。

漏水による腐食(桁端部)



漏水による腐食(支承)



凍害によるコンクリートの剥離



コンクリートの中性化*



*凍害: コンクリート中の水分が氷になった時の膨張作用によって発生するものであり、長年わたる凍結と融解の繰り返しによってコンクリート組織が崩壊していきます。

*中性化: 本来コンクリートは強いアルカリ性ですが、大気中の二酸化炭素が浸透すると化学反応により中性化します。これにより鋼材などが腐びやすくなってしまいます。